

大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学

大阪大学医学部附属病院

糖尿病・内分泌・代謝内科

国内最大の糖尿病・内分泌・代謝内科学教室と関連施設



教授； 下村伊一郎



- 教室員約70名、同窓会会員約500名。
日本最大規模の糖尿病・内分泌・代謝内科学教室。
- 「佳き主治医と医学貢献」の方針のもと、日本そして世界の医療・医学への貢献を常に目指し、多くの実績を積み上げています。
- 全身を相手にする統合内科学としての診療学問領域。糖尿病・内分泌・代謝疾患のスペシャリストと同時に、内科のジェネラリストも育成。
- 女性医師も多数在籍。結婚・出産・育児への対応、キャリアアップ、教官や関連施設部長、留学と多くの女性医師が高いレベルで活躍。
- 幅広い疾患（糖尿病、脂質異常症を中心とする代謝疾患、下垂体、副腎、甲状腺、副甲状腺、性腺疾患）を扱い、各領域の高い専門性を有しています。

内科学・糖尿病学・内分泌学の教科書に載る世界一流の研究業績

- 内臓脂肪症候群 (Visceral Fat Syndrome)
メタボリックシンドローム概念発祥の地
- アディポネクチン (Adiponectin)
脂肪細胞由来ホルモンであるアディポネクチンの発見とアディポサイトカイン概念の提唱
- 転写因子MafA
最も強力なインスリン転写因子であり膵β細胞再生にも重要な因子
- 劇症1型糖尿病 (Fulminant Type 1 Diabetes)
1型糖尿病の新たなsubtype (疾患entity) の確立
- グルココルチコイドによるTSH不適切分泌症候群
新たな内分泌疾患概念の提唱

充実した指導体制

多種多様な専門医・指導医による手厚い病棟指導体制！

- 各専門領域のチーフによる専門回診、科長による総回診を週1回実施。
- 医局員が一同に介する診療科カンファレンスを毎週行い、多角的な視点からの質の高い診療を担保。
- 教室員全員がそろって研究カンファレンス（Global Meeting）にて多くの臨床研究や最先端の基礎医学研究に触れることが可能。
- 担当した症例の学会発表から論文作成まで熱く指導いたします。

統括医（講師クラス）



指導医（助教クラス）

主治医（専攻医）



担当医（初期研修医）

取得可能な専門医・指導医

糖尿病専門医（38名）、内分泌代謝科専門医（14名）

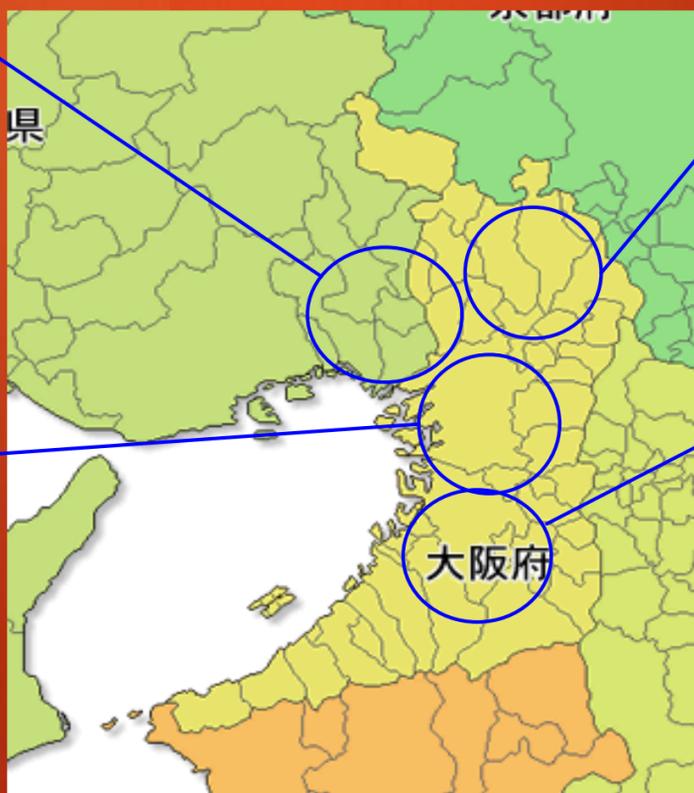
総合内科専門医（21名）、甲状腺専門医（3名）、肥満症専門医（2名）

カッコ内は現在の取得者数

多数の関連施設

市立伊丹病院
近畿中央病院
市立川西病院
関西ろうさい病院
県立西宮病院
西宮市立中央病院
川崎病院

大阪国際がんセンター
大阪急性期・総合医療センター
大手前病院
大阪警察病院
国立病院機構大阪医療センター
JCHO大阪病院
住友病院
日本生命病院
大阪回生病院
第二大阪警察病院
大阪みなと中央病院



市立池田病院
市立豊中病院
市立吹田市民病院
箕面市立病院
済生会千里病院

大阪労災病院
堺市立総合医療センター
りんくう総合医療センター
国立大阪南医療センター
市立東大阪医療センター
八尾市立病院
ベルランド総合病院